

地域の子どもたちにより良い環境を

SDGsラジオを讀んでみよう！

おうちで椅子をつくることになりました。まず、どこに行きますか？

そう、ホームセンターですね。

全国でホームセンターの「コーナン」を運営しているコーナン商事では、さまざまな社会貢献活動を行っていて、子どもたちへの「寄付」もそのひとつです。

2010年度から「大阪教育ゆめ基金」と、「堺市子ども教育ゆめ基金」を通じて、子どもたちがより良い環境で生活し、学べるように支援を続けています。

また、2023年度には、大阪府の高校生たちに向けて、740台の自転車と、740個のヘルメットを寄贈しました。

これらの自転車は、近隣の高校と合同で部活動をする際の交通手段などに使われます。

みなさんが笑顔で毎日過ごすことは、この世界にとって、とても大切なことです。

「子どもたちのための支援」は、社会には、他にどんなものがあるのか調べてみるのもいいですね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：コーナンの店舗外観(コーナン公式HPより)

ホームセンターでおなじみの「コーナン」を全国で展開するコーナン商事では、地域の子どもたちがより良い環境のもとで学校生活を送れるように、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。そのひとつが、「大阪教育ゆめ基金」と「堺市子ども教育ゆめ基金」への寄付です。これは2010年度から毎年行われており、この継続的な活動が評価され、2022年によしむらひろふみ おおさかふちじ ねん さかいしきょういくいんかいじむきょく かんしやじょう おく 感謝状が贈られました。

また、2023年度には大阪府内の高校生たちに向けて、コーナンの店舗で販売されている自転車(コーナンのプライベートブランド商品)740台とヘルメット740個を寄贈しました。この自転車とヘルメットは、2022年から大阪府が進めている「部活動改革」の取り組みのひとつとして、「近隣にある他校と合同での部活動」を促進するための、高校の駐輪場に常備され、部活動の際に学校間の移動手段として活用されています。こういった「子どものための支援」は今、社会のさまざまな場所で行われています。みなさんが健やかに日々を過ごして成長することは、SDGsの達成にとってはもちろん、世界の未来のためにもとても重要なことです。



画像参照：寄贈された自転車



画像参照：コーナン公式マスコットキャラクター「コータン」のシールが目印

キーワード

教育ゆめ基金

子どもの「学び」や「成長」を支えるために、寄付を募り、積み立てている基金のことです。

プライベートブランド

ホームセンターやスーパーなどの小売店が、独自のブランドで企画・販売する商品のことで。

部活動改革

少子化により生徒数が減少する中でも、生徒たちが継続して部活動に励めるように大阪府が進めている取り組みのことです。

対象ゴール



みなさんにできること！

みなさんの学校の備品にも、寄付や寄贈されたものがあるかもしれません。調べてみましょう。

おさらい

- コーナン商事では、子どもたちを支援するための社会貢献活動に取り組んでいる。
- 社会ではさまざまな企業が、子どもたちのためにさまざまな活動を行っている。
- 子どもたちが健やかに成長することは、世界の未来のためにとっても大切。

メモ



SDGs ラジオ